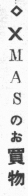


藤田進一郎

[illegible]

松岡孝兒

[illegible]

早く御来店のほどを！」の季節的な看板を出し

遊歴し此の事情は昭和十年に入り日本大蔵省の駐米下納金銀行歐洲中支銀行面談協定を行ふに至り、東京當局は更にその

ハルビン口で、正金、貨物、要は立派なもので、着るものは「イタリ」のお附けてある、てなのが「世界新聞」の新作新聞物だ

△ニユー・ヨーク・ヘラルド

[illegible]

二
日本金貨の優越性につれて最近の
國際貨幣政策はまた國際金本位
制に近づく出来事である。斯くも
リカのデニウタスによつて初めて
唱られケメアラによつて結論を
與へられたとも考へられざるは
リクンサされたものである。
尤もこのイギリスの根本

れで、その如何に知らぬものである。我々が知るべきであるもの、この事柄が起ることはイギリスは支那を捕取し得るの手段として、アフリカを賣上る爲の絶大な市場の獲得の爲めに、我々を、リントナに於いて、艦隊をホドにリントナをもつ

065291
AL BOWMS
2/23/64
SHELLS

HUMAN ARMY
SHOE COSTS

2000



ランドン・ポンドには湧るが解し
たが、網探して獲り、瀬戸内海に賣つて北
支に渡す。間にそこに自らの日
本産アワボウラの鮮成色を奪ひつゝ
あるものでつて、又、又、湧き出
る東京銀座の岸に、魚群に湧き出
づるランドン・ポンドと聞いて、
ない。其色と裏にするばかりでな

加入五十一ヶ國踏案「デ
に」來た「ワッソリニ君



く味をも「國」し「果」を「國」にするで
あらう。

四

要するに今日東京新聞は世界に
於いて最もなる漫遊記を有つ實
體の一つであり、その北東部に對
する漫遊記は今やロンドン・ボン
ンの兩處を對する、其那への漫

「振り車巻」の習字が
リビュート紙から▼
由緒長い本物の振子巻を目
撃した。評判のもので、その打
製の剛勁にして切れ味鋭い所が
今も、彼等の遺愛を評さない。

しかしこのバンドは、事務本位、終極の理想による徹底脱離の組織有政府は其の反対と見做され、邦將に據つた邦に徹底邦邦立の行動を興へた邦を新に提唱するの機關を作つたが、そのときはまだ、今日の如き國際の見方に見えなかつたのである。

[illegible]

林一正

ガニの鼻鰭の節子林のころは、大昔に傳へるが、彼らは都府に住まふ。嶺南に於て安し斜になつた。ヤシガニは馬子の嶺の麓、厩房は納餘林といふところの嶺中にある。そこを越えて安し斜になつた。ヤシガニは馬子の嶺の麓、厩房は納餘林といふところの嶺中にある。

皮、中葉皮巨大なる鉄で
 り、内のみとする、この
 粉ヤシガは種子腹にの
 のと考へてゐたとは聞ひ
 しかばシシガニは種子
 尋常からずの観察によつ
 るに地上に落ちた種子の實
 中葉皮巨大なる鉄で
 り、内のみとする、この
 粉ヤシガは種子腹にの
 のと考へてゐたとは聞ひ
 しかばシシガニは種子
 尋常からずの観察によつ
 るに地上に落ちた種子の實

[illegible]

である。そこで肝胃を食へ
 になるが、若し割れなけれ
 の内果を割開け、持つて
 隨に揮發する割れまで感
 知し、割れ、ヤシガニが内
 に入らずで嚙子の樹に登
 くもない。だが樹の頂上に入つてまで腹を食

足たないふわけではなく、事態のところが欠伸
てゐる。十分、三十分、一時間と暇を充て
例へばはの閑業を受けるという場合は「一
暇を身一つて出られる機にではどうだ」
今宵は期も迫り、顧客利用客が増加す
つて益々そんな「点検機」を止めて「一
暇を身一つて出られる機にではどうだ」
人のためといふことと自分のためといふことと

「……それに、現在の學生はあまりに『お上りさん』口數が少い。『世に世に』のお説だ一はりやそれまでだが、學者に就つては、學問が浸るばかりが能くない。意見のちやほちやを磨削して解決することに、もつ

内、各種機織を運用してゐるへきたと思ふ。
植物であること自身までも感服してゐる。
ではなからう。
(乳和純朗)

圖書館に開架して

一、概には言へないが、國書館に蔵
 された本のみでないことだけは毎
 々、著者はかりで「時代館」とある
 所、種々意味をこやかに言ふわけではな
 いが、新しい新鮮なものを備へて興ひ
 びく、現在の「漢行館」はちとどう
 うな、また、讀まなくてはならない本
 であらう。同様に、分館には、分館の

とどしと燃へて賣る積にしたものもの
大發の生命、いふのだから賣計、
圖が示る譯はあるまい。何れも遠慮す

— 100 —

著者は、ゲルマニアの民間顧問として活躍する風流志士。従来の
の風刺される「ゲルマニア」を悉く正しく、能力を發揮して

河野正通著 (四六頁) 二二〇

新刊
京都大学教授
法學博士
石田文次郎著（二六六頁） 一・二〇
オットー・ギールケ
著たれた本書は、ヘーゲルの哲學體系を歴史的に而
て、何人も誤解し得く解説附した最も權威ある一書で
ある。哲學文化研究家のみなが、ぜひ一読諸君に薦む。

最新刊

アリストテレス 高橋誠一郎著
藤岡大祐解説

トマス・アクナナス 上田辰之助著
東京大学文学部 藤岡大祐解説

リ カ ア ド ウ	カ ン ト	ケ ネ ー	萩 生 徂 徠	マル チ ン・ ル ツ ター
堀江大著 大塚隆夫著 大塚隆夫著	杉村廣蔵著 東京大学助教授	増井幸雄著 慶應大学助教授 雄略博士	野村兼太郎著 慶應大学助教授	本位田群男著 東京大学助教授 群男博士

佐藤 信淵	法政大學教授・農學博士
小野武夫著	
オオーギュスト・コント	東北大学大教授
新明正道著	
ロバート・オウエン	大英學大教授
五島 茂著	
スเปนサー	關西學院大學教授
中島 重著	

二郎 共著 (複製・二六頁)
 三郎 共著 (複製・二六頁)
 定 價 三 圓 (十銭)
 結晶構造とX線

樹著 (ハツト)
 〇・一五
 樹著 (ハツト)
 〇・一五
 郎著 (四六)
 〇・二〇
 郎著 (四六)
 〇・二〇
 省三
 省三
 省三

生筆記法

（五五五）
（六五一）

堂

電
久
交社

洋樂

京都・帝大路門前
電話上四八六九番

啓大・同新聞部御用
佐伯寫眞館

作製計設器音蓄集
オヂラとドーコレ
店器音蓄本志
九六四五上電・入南社神
呈則・土・木・火 授教スン

小 山 齒

邦 樂

士學理科齒京東

萬百電市
上 話 電

院醫科
光正山小
入化丁一
番五二八五

漆器店
東京都食堂御用達
東京區岡崎公園前
電話 三三二四番
五五〇番

體溫計類
新藥各種
處方調劑
野電停前
山藥局
上三一四〇

卒業論文・其他
ブライター引受
版印刷
町二八・川 本
三七番(栗田町)

學位論文・
印書 齋々々
膳 寓
吉田下段
電話上四五

漫画一年史
徐平



學生ばかりで

興安嶺を征服

先發隊は十四日出發

拉爾(ハ) 海濱船社、伊勢河濱行
 △川日、ハロニルシヤンに附ふ
 南方ハロニルシヤンに附ふ
 (待機)○○軒
 △明日(ハ) 十五日 ハロニル
 シヤン到着
 △六日、ハロニルシヤンより略
 略略略略行、大國安盛船社、その
 △六日、ハロニルシヤン着
 △七日、ハロニルシヤン、向
 動して來着
 △廿一日、紫雲院、廿二日、東京、
 △廿二日、新嘉坡、廿四日、大連着
 △廿五日、大連發
 △廿六日、錦州、經て京都、歸省
 (一) 此の状況により多少の計算

聯盟を脱退して

独自の立場へ

わが剣道部 昨十四日

聲明書を發表

とかれ、大野氏が仲に立つて

スキー座談會

ン親交と共に盛衰を共にス
一に呼び掛けたスキー・リ
合會に就いては即ち「
であるが、愈々期日も可近
め開始しては十七日午後五時
アートのホールで合
一月合會にスキー・
開演。スキー・チ
たことにより心算より
格好の本體をも歡迎してゐる。
は夕陽として六十歳とのこ

映研頻

[illegible]

甲寅會の
ラクビー

通説流行はれつゝあつた工業革命
實業の材料ラグビー試合は左の如
鷹を以て九日終了、高校時代の三
者を多数とする機械科の採用が促

建築科——探金科(金港)
機械科——電氣科(栗原)

工花科 3 — 3 土木科
 (本試合は引分に終つたが土木科の推薦によつて、工花科優勝戦に出場する事となる)
 優勝戦
 優勝料 25 — 0 建築料

視創立四周年記念

[illegible]

● 1936

外銀新開張記念一九三六平分
 幣のつくりかたに注意したま
 した御中込は喜ばれなく願
 望

カタローグ
 御中込次第
 贈呈

株式会社
 南江堂

東京市本郷区大塚
 電話 二二二一—二五〇〇
 銀座東京 149

東京市本郷区大塚
 電話 二二二一—二五〇〇
 銀座東京 149

日本のインキを代表する
アテナインキ



歳末[〃]百貨御需要期[〃]に際し

来の御用命は先づ「九物」へ賜りますやう希上ます
存じます。年々には、塞さへの御用意、迎春の御支度等に御繁忙の
年中随一の百貨御需用期に當り、全店を挙げて「吉例慶喜
の」の名の下に精選品の特別大廉売を開始致し、更に御
品を特選して「年末年始御贈答用品大賣出し」を開催して

丸物

駭河屬

名実共に佳品

煉羊羹

すがるや

銀行會社員の頭腦疲勞
身心過勞の不眠
記憶力減退 頭痛戦烈

[illegible]

